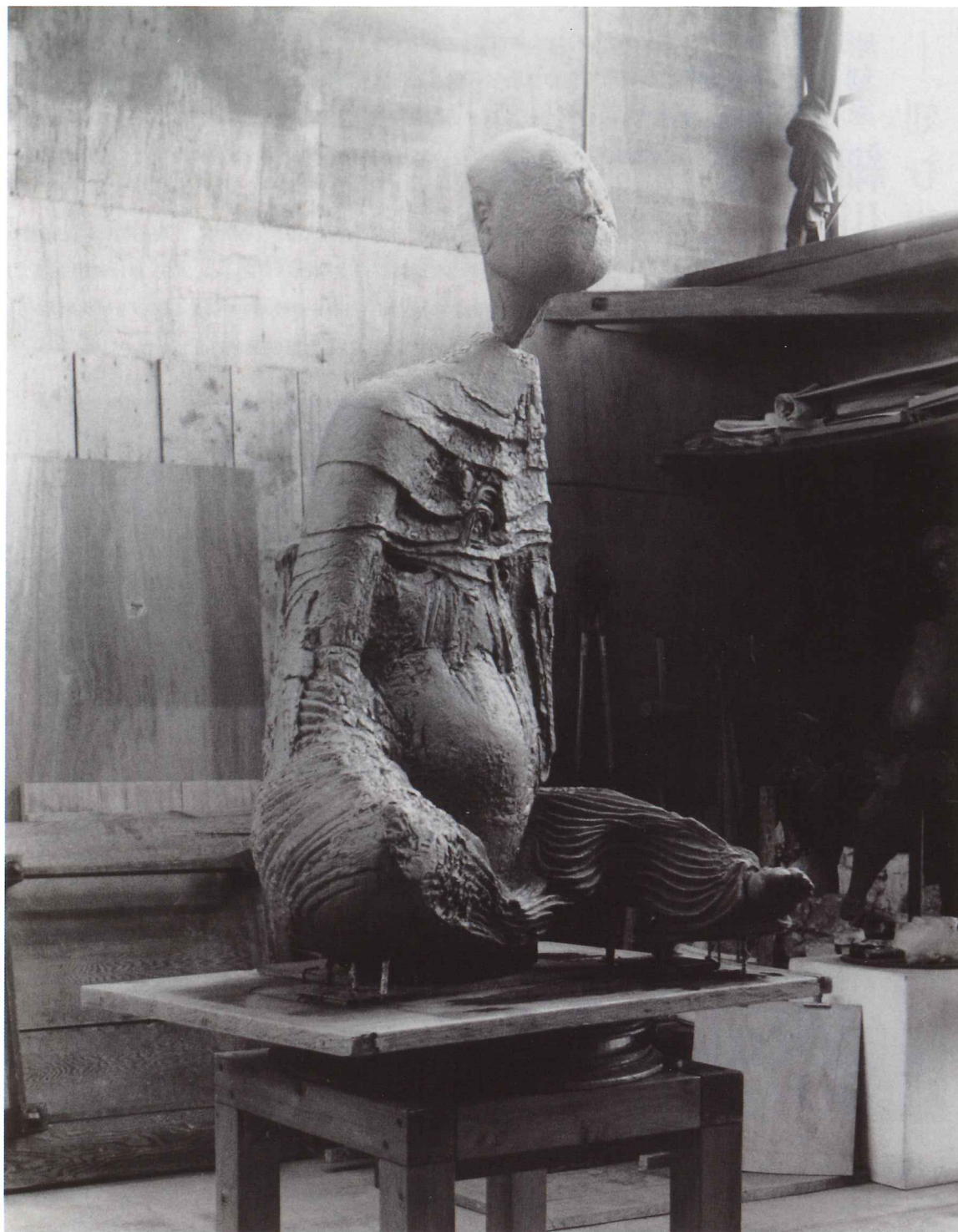


彫刻家
細川宗英
— 刻む想い —

令和4年度諏訪市美術館

常設展示室開設20周年記念特別展



アトリエ風景《蛙》

M. Ido & Kanon

2022年7月9日(土)～9月19日(月・祝)

休館日：月曜日、祝日の翌日（7/11、19、25、8/1、8、12、15、22、29、9/5、12）

開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）

入館料：一般（高校生以上）520円、子ども（小中学生）150円

一般団体（20名以上）410円、子ども団体（20名以上）100円

障がい者（介助者1名まで同額）150円

※諏訪地域の小中学生は無料

主催：諏訪市美術館

後援：信濃毎日新聞社 長野日報社 市民新聞グループ

NBS長野放送 abn長野朝日放送 TSBテレビ信州 エルシーブイ株式会社

信州美術会 諏訪美術会 諏訪市美術会

助成：公益財団法人花王芸術・科学財団 公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

MUNEHIDE
HOSOKAWA

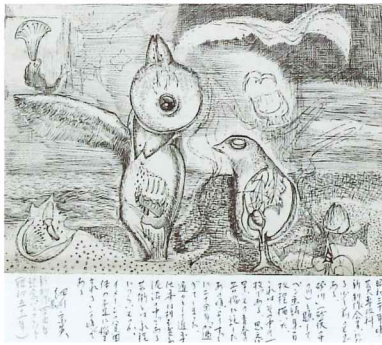
彫刻家 細川宗英

細川宗英(1930-1994)は松本市に生まれたのち、東京藝術大学美術学部彫刻科へ進学するまでを諏訪で過ごしました。同大学研究科在学中より新制作協会展へ出品し、高い造形力によって評価されます。

細川は、戦後日本へもたらされた欧米の彫刻表現の影響を受けつつも、日本人としての表現を打ち立てようとしていました。さまざまな主題をととして彫刻とは何かを問い、長い年月で風化し、形が崩れながらも存在する人間の生きた証や美しさ、永遠に残るものへの祈りを表現しました。

東京へアトリエを構えた細川ですが、故郷である諏訪へたびたび帰郷し、八ヶ岳のふもとでの豊かで美しい自然を制作する上で心の拠りどころとしました。没後は作品の多くが諏訪市美術館へ寄贈され、2003年に細川宗英常設展示室が開設しました。

常設展示室開設20周年の記念である本展では、初期から晩年までの彫刻やデッサンをスケッチブックなどの資料と共に展示し、いくつもの主題の変遷を辿りながら細川が表現しようとした彫刻像を紹介します。



1 《砂川 No1》(部分)1954-56年頃 2 《楯を持つサントゥール》1959年 3 《髪火流地獄(鳥と犬と)》1975年 4 《壺のある作品》1967年
5 《王と王妃 1973》1973年 6 《蛙(ひざの上)》1980-90年代 7 《焰口餓鬼 No2》1970年代

- つきいちアート7月トークイベント「彫刻家・細川宗英について」
日時：7月24日(日)14:00~15:00 会場：諏訪市美術館
定員・申込：20名 要申込み
参加料：入館料のみ 講師：藤森民雄先生(彫刻家)

- つきいちアート8月親子ワークショップ「素材を触って①粘土で作ろう!」
日時：8月11日(木・祝)14:00~15:30
会場：諏訪市文化センター 対象：親子
定員・申込：8組 要申込み 参加料：300円

- つきいちアート9月「素材を触って②鑄造をしてみよう!」
日時：9月11日(日)14:00~15:30 会場：諏訪市公民館
定員・申込：8名 要申込み 参加料：500円

- おはなし鑑賞会
日時：7月31日(日)14:00~15:00 会場：諏訪市美術館
定員・申込：20名 要申込み 参加料：入館料のみ

- 学芸員によるギャラリートーク
日時：8月14日(日)14:00~14:30 会場：諏訪市美術館
定員・申込：20名 要申込み 参加料：入館料のみ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント内容が変更・中止となる場合がございます。
詳細は諏訪市美術館ホームページをご覧ください。

国登録有形文化財
諏訪市美術館
SUWA CITY MUSEUM OF ART

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り 4-1-14 TEL・FAX 0266-52-1217
<https://www.city.suwa.lg.jp/site/museum/>
〈交通案内〉JR中央本線上諏訪駅より徒歩7分・中央自動車道諏訪ICより車15分



諏訪市美術館HP